

学校名	佐賀県 玄海町立玄海みらい学園
助成活動のテーマ	自分の命を守る力と人のために行動する態度を養う
主な教科領域等	教科領域（総合的な学習の時間、特別活動、道徳、教科（主に、理科、社会、国語））
助成活動に参加した生徒数	（ 1～9 学年 513人）（複数可） 携わった教員数 <u>73人</u>
その他の参加者数	地域住民・保護者（ 350人） その他（教育委員会、行政職員）
助成活動期間	平成 28年 5月 16日 ～ 平成 29年 2月 28日
想定した災害 ※該当するものに丸をつけてください。複数可。	地震・津波・台風・洪水・河川氾濫・土砂・その他（原発放射能漏れ）

■助成活動の目的・ねらい

平成 27 年 4 月開校の小中一貫校である本校は、町内に玄海原子力発電所を有し、原子力や地震津波等の防災減災教育の一層の推進が必要である。また、自然豊かでとても美しい棚田等の環境を、今後どう守るかも大きな課題である。助成活動により、命や自然環境を大事にし、未来に夢を持ち活躍できる子どもの育成を目的・ねらいとしている。

■助成活動内容

- 職員研修（何故、防災・減災教育か。災害とは何か。何を学ばせるのか。）…講師招聘による
- 災害学習→防災・減災学習（授業）…減災姿勢、食器作り、防災・減災マップ作成、非常食、防災・減災のカルタ作成、避難所づくり（ベッド、トイレ）、備蓄確認、防災・減災家族会議、避難グッズの備え
- 原発事故による放射能漏れを想定した児童生徒の保護者引き渡し訓練、および、避難訓練、地震・津波避難訓練の実施
- 様々なスタイルの交流会（異学年、他校、他地域、国際的）、発表・報告会における発信・学びの深化

■成果① 減災(防災)教育活動・プログラムの改善の視点から

ただ単に「避難訓練を行ったり」「E S Dカレンダーを作成して関連性を確認したり」にとどまらず、何のための学びか、何を目標しているのかをはっきりさせることができた。つまり、時や場所にかかわらず災害にあったときの自分の行動や周りの人との協力、日頃の備え等、多方面から防災・減災に向き合い、『持続可能なふるさと』を意識した教育活動を確立させることができた。

■成果② 児童生徒にとって具体的にどのような学び（変容）があり、どのような力を身につけたか。

まずは、災害に対する正しい知識を得、それに対する身の守り方や備えを理解することができた。本プログラムにより、それに加えて、コミュニケーション能力、規律や道徳心、地域とのつながり等、日常生活において人として大切なことも体感し、それを身に付けようとすることも意識するように、つまり、協働する力をつけるべく、活動することができるようになってきた。

■成果③ 教師や保護者、地域、関係機関等の視点から

- 取り組みにより、教職員の活動に対する意識が特段に高まり、保護者も学校との連携の重要性を実感した。
- 学校が子どもの安全を最優先に、しかも緊急への備えの姿勢に評価をいただき、協力的な雰囲気が高まった。
- 高校との合同避難訓練等で一層の連携が図れた。警察・消防・役場等との連携も前年より改善できた。

■自校の実践で工夫した点、特筆すべき点

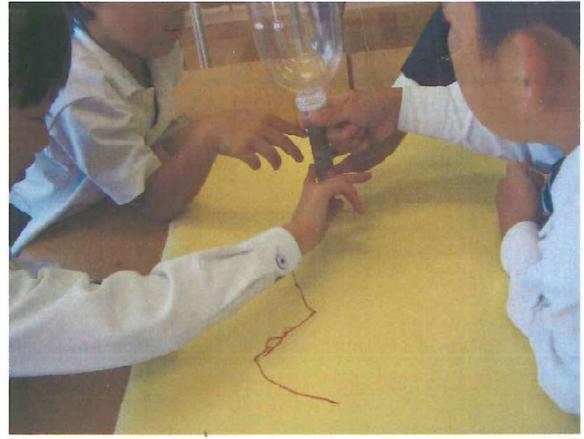
- 町内のみの関わりだけで終わるのではなく、広く世界を視野に入れた活動を展開した点。
 - 大学訪問による留学生や県内に住む外国出身者との交流の中で行った、自分たちの町の減災の発信
 - 様々な国の災害・減災事情の収集と、それを基に見えてきたこれからの減災学習の方向性

■実践から得られた教訓や課題と今後の改善に向けた方策や展望

地域とつながりながら進める大切さを得た今、これを今後につなげ、更なる広く深い学びが必要だと感じている。来年度から取り組む海洋教育の中で、この減災教育の位置づけを明らかにし、誰もが見通しのもてる教育計画の設計を目指す。そのために、本学園独自の「学びの航海図」とその手引きを作成し、その中で本学園が目指す教育活動の発展に努める。



1年生「じしんってなに？」授業



1・2年生コミュニケーションスキル
「きょうりよくしてお絵かき」



3・4年生コミュニケーションスキル
「竹ひごタワーを作ろう」



4年生 もし、災害が起きたとき…
「ラップを使った紙風船づくり」



5年生 防災マップ作成
～民生委員さんの協力の下～



5年生 心肺蘇生実習
～救命救急講習会～



3・4年生 西南学院大学留学生との国際交流
～自分たちの減災学習の発信と外国の減災事情～



5・6年生 九州産業大学留学生との国際交流
～自分たちの減災学習の発信と外国の減災事情～



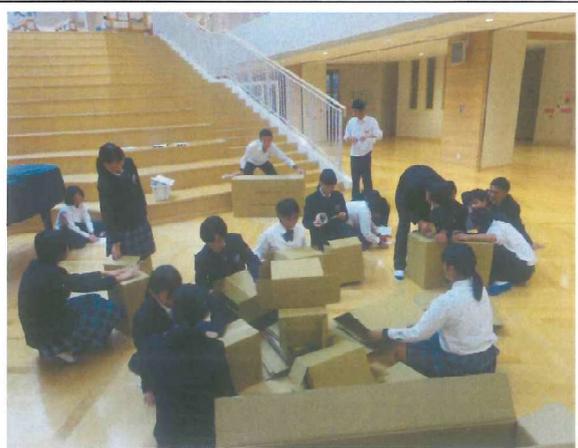
2・7年生 減災カルタ大会
～7年生が作成した減災カルタを使って～



8年生 非常食の準備
～赤十字講習の中で～



裏山への津波災害避難訓練
～玄海みらい学園児童生徒と高等学校と合同で～



8年生 ダンボールベッド作製
～避難所設営の中で～